

石垣たまご理論について

その発想と展開

患者主体の慢性疾患の予防①を実現する

統合理論について⑥

「上腹部の柔軟性」が生まれ、深く・長く・こちよい呼吸ができる「生と死」

「予防・治療・ケア・穏やかな死」

「現代医学・東洋医学・各種医療」が統合される

「日本の医療と国家の財政状況の現状と問題点」

前回、慢性疾患を中心として、日本医療の現状と問題点、その要点を述べた。その要点を整理して、現状と問題点を挙げておきます。

① 平成23年度の医療費の総額は38兆5000億円、5年連続過去最高を更新し、政府の推計では団塊の世代(昭和22年・24年の生まれ)が75歳以上となる37年度の給付額は54兆円と予想されること。

② 医療費の膨張する大きな原因は、

- ① 高齢者数の増加
- ② 医療の高度化(新技術・高度な検査機器の開発普及など)

であり、さらに少子高齢化に伴って、拍子がかかり、このままの医療では、明らかに公的医療保険制度は「死」は、子孫により良い問題である。

③ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

④ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑤ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑥ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑦ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑧ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑨ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑩ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑪ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑫ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑬ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑭ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑮ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑯ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑰ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑱ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑲ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑳ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

⑳ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㉑ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㉒ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㉓ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㉔ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㉕ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㉖ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㉗ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㉘ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㉙ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㉚ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㉛ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㉜ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㉝ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㉞ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㉟ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㊱ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㊲ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㊳ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㊴ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㊵ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㊶ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㊷ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㊸ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㊹ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㊺ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㊻ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㊼ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㊽ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㊾ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㊿ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

㊿ 高齢者の老化による「死」は、子孫により良い問題である。

「生と死」

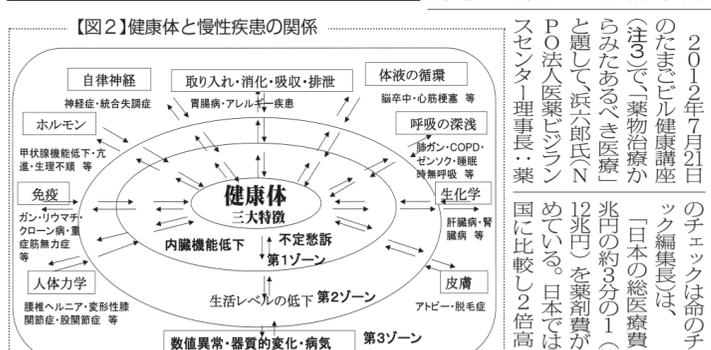
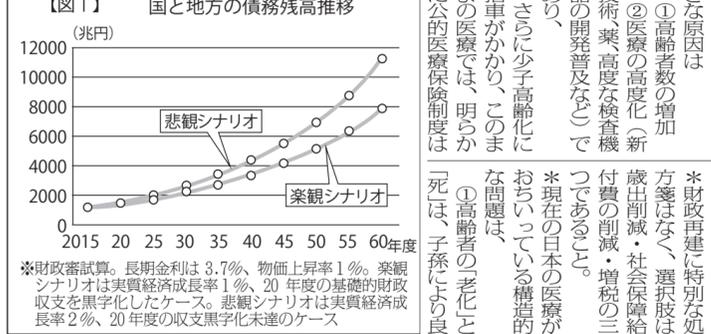
「予防・治療・ケア・穏やかな死」

「現代医学・東洋医学・各種医療」が統合される

「上腹部の柔軟性」が生まれ、深く・長く・こちよい呼吸ができる「生と死」

「予防・治療・ケア・穏やかな死」

「現代医学・東洋医学・各種医療」が統合される



注1 『現在の日本医療再生への提言』現在の日本では慢性疾患の患者主体の予防が必要とされている

※疾病構造の変化により慢性疾患の予防とケアが医療の中心に

※慢性疾患の予防と治療に対応できていない現在の医療とその理由

※EBM根拠にもとづく医療の最も信頼性の高いレベル1の根拠を「ランダム化比較試験」=疫学的な統計データに何故おかなばならないのか 18年1月1日号参照

注2 『人間中心の枠組みを破り、発想を転換する』①・②「現代医学」のすばらしさをどうにかすか「現代医学」が抱えている迷路からどう抜け出すか 24年1月1日・2月15日号参照

注3 たまごビルホームページ・たまごビル健康講座参照

注4 表1の『アメリカでは「薬の副作用」が死亡原因の第4位』とあるが、薬の副作用で死亡する前に、患者さんに対し、年間30億の薬の処方があり、その薬の副作用で約200万人の入院がある。そして、薬の副作用による死亡が、年間10万6000人ということ。『岩波講座 現代医学の基礎「薬物動態と薬効」』参照

注5 たまごビルホームページ・たまごビル健康講座参照

注6 『自然の治癒力』を生むROB治療

【1】生人間の「こころ」と「からだ」の変化 【2】生人間の「こころ」と「からだ」が変化した結果 【3】「上腹部の柔軟性」と「呼吸・循環・人体力学・自律神経・内臓全般の動き」との関係】 24年3月15日号参照

注7 不定愁訴とは、広辞苑によると「明白な器質的疾患が見られないのに、さまざまな自覚症状を訴える状態」

注8 『現代医学』に新たなページを開く「上腹部の柔軟性」9

【1】「からだ」の「しくみ」の中心は「入りと出】 25年1月1日号参照

注9 『現代医学』に新たなページを開く「上腹部の柔軟性」9

【1】「からだ」の「しくみ」の中心は「入りと出】 25年1月1日号参照

注10 『現代医学』に新たなページを開く「上腹部の柔軟性」9

【1】「からだ」の「しくみ」の中心は「入りと出】 25年1月1日号参照

注11 『現代医学』に新たなページを開く「上腹部の柔軟性」9

【1】「からだ」の「しくみ」の中心は「入りと出】 25年1月1日号参照

注12 『現代医学』に新たなページを開く「上腹部の柔軟性」9

【1】「からだ」の「しくみ」の中心は「入りと出】 25年1月1日号参照

注13 『現代医学』に新たなページを開く「上腹部の柔軟性」9

【1】「からだ」の「しくみ」の中心は「入りと出】 25年1月1日号参照

有料老人ホーム・高齢者専用賃貸住宅のことなら

株式会社 小滝工務店

〒581-0016 八尾市八尾木北6丁目55-2 TEL 072-996-6820 FAX 072-923-0015

河内新聞の電子新聞申し込み

ニュースメディアスタンドTOPページ http://newsmediastand.com

〈お問い合わせ先〉 株式会社 廣済堂(熊沢) ☎03-6836-2711

道路は歩行者・自転車・車が優先!

八尾市内から踏切をなくそう!